KAWAI

ご使用前の準備

演奏ガイド

様々な機能を楽しむ

演奏を録音再生する

様々な設定を操作する

付録

DIGITAL PIANO
CN23
取扱説明書

このたびはKAWAIデジタルピアノCN23をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本楽器を存分にお楽しみいただき、末永くご愛用いただくためにも、

この取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管くださいますようお願い致します。

はじめに

取扱説明書について

はじめに、取扱説明書（本書）の「ご使用前の準備」（P.6）からお読みください。各部の名称と機能や、電源コードの接続や電源の入れ方を説明しています。

取扱説明書では、CN23 をすぐお使いできるよう基本的な演奏ガイドから、様々な機能を使いこなすための操作まで説明しています。また付録には CN23 の組立方法や音色一覧などの資料を見ることができます。

表記について

この取扱説明書では、操作方法を簡潔に説明するために、［　］で囲まれた文字は、ボタン名を表し、［SOUND SELECT］ボタン、のように表記します。

本製品の特徴

グランドピアノのタッチに近づいた『レスポンシブ ハンマー アクション（RH Action）鍵盤 / アイボリータッチ』

滑らかでスムーズなタッチ、弱打から強打まで繊細な表現が可能なグランドピアノに近い弾き心地の RH Action 鍵盤を搭載。さらに優れた吸湿性と象牙の風合い、色を備えた象牙調仕上げ（アイボリータッチ）鍵盤により、指が滑りにくく、心地よいタッチ感が得られます。

カワイコンサートグランドピアノ EX の音を様々なタッチで 88 鍵全て録音した、『88 鍵ステレオサンプリング、プログレッシブハーモニックイメージング音源（PHI）』

CN23 は、世界最高峰のピアノコンクールであるショパン国際ピアノコンクールで実際に使用した、カワイコンサートグランドピアノ EX の音を、88 個の鍵盤一つ一つについて丁寧に録音した秀逸のピアノ音を搭載しています。さらに鍵盤を弾く強さにより大きく変化するピアノ音を様々な強さで録音することにより、従来の電子ピアノを凌駕する表現力を備えました。

また、ダンパーペダルを踏んだときの響板やフレームの響きを再現した「ダンパーエフェクト」でグランドピアノの音の響きをディテールまで再現します。

付属品（お確かめ下さい）

- ☐ 保証書
- ☑ 取扱説明書 (本書)
- ☐ カワイデジタルピアノ　ユーザー登録のご案内
- ☐ アフターサービスと音楽教室のご案内
- ☐ 楽譜集ご案内
- ☐ 楽譜集の払込取扱票
- ☐ 高低自在椅子
- ☐ 電源コード
- ☐ ヘッドホン
- ☐ ヘッドホンフック
- ☐ ファンクションシール（1 組）
- ☐ スタンド組立図

目次

2 はじめに

3 目次

4 安全上のご注意

ご使用前の準備

6 各部の機能と名称

7 電源を入れる / アジャスターの調整

音量を調整する / ヘッドホンを使う

演奏簡単ガイド

8 いろいろな音色を楽しむ

9 ペダルを使う

10 デュアル演奏

4 ハンズモードを楽しむ（連弾演奏）

11 メトロノームを使う

様々な機能を楽しむ

12 デモ曲を聴く

13 レッスン機能を楽しむ

1. 練習したい曲を選ぶ

14 2. 練習曲を聴く

15 3. 片手で練習する

16 コンサートマジックを楽しむ

1. コンサートマジックとは？

2. コンサートマジックを演奏しよう

17 3. コンサートマジック曲を聴いてみよう

演奏を録音再生する

18 演奏を録音する

19 録音した演奏を聴いてみる

録音した演奏を消去する

様々な設定を操作する

20 設定メニューについて

21 1. タッチ

2. トランスポーズ

3. チューニング

22 4. リバーブ

5. ダンパーエフェクト

6. コンサートマジックの演奏モードを切り替える

23 7. MIDI 送受信チャンネル

8. ローカルコントロール

9. マルチティンバーモード

10. プログラムナンバー送信

付録

24 MIDI について

25 困ったときは？

26 音色一覧

デモ曲一覧

コンサートマジック曲目一覧

27 他の機器との接続

28 CN23 の組み立て方

30 CN23 仕様

送受信プログラムナンバー一覧

31 MIDI インプリメンテーションチャート

裏表紙 お問い合わせ先

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。表示と意味は下記のようになっています。

本体に表示されているマークについて

製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注　意
感電の危険あり
本体をあけるな

注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。

このマークは感電の危険があることを警告しています。

このマークは注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

警告と注意、記号表示について

警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。

注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。

警告

100V 以外禁止

電源は必ず AC100V を使う

電圧の異なる電源を使用しないでください。発火の恐れがあります。

付属の電源コードは本機でのみ使用する

付属の電源コード以外を本機で使用しないでください。付属の電源コードを他の機器で使用しないでください。

コードを傷つけない

電源コードは無理に曲げたり、重いものを乗せたり、熱いもの近づけたり、傷つけたりしない

コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

水濡れ禁止

水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける , かける , こぼす）等しない

漏電によって、感電や発火の原因になります。

濡れ手禁止

水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

感電の原因になります。

異常が起こった場合、故障した場合は即座に電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜く

不安定な場所に置かない

怪我や破損の恐れがあります。

異物を入れない

本機の内部に異物を入れないようにする

水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

長時間使用禁止

ヘッドホンは大音量で長時間使用しない

聴力低下の原因になる恐れがあります。

落とさない

本機を落としたり、強い衝撃を加えない

怪我および破損の恐れがあります。

分解禁止

本機を分解、修理、改造しない

⚠注意

プラグ部分を持つ

電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

プラグを抜く

長時間使用しない時は　必ず電源プラグを抜く

落雷時に火災の原因になります。

使用禁止

本機を次のような所では使用しない

- **窓際など直射日光の当たる場所**
- **暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所**
- **戸外など極端に温度の低い場所**
- **極端に湿度の高い場所**
- **砂やホコリの多い場所**
- **振動の多い場所**

故障の原因になります。

電源を切る

コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

本機や接続機器の故障の原因になります。

指をはさまれないよう注意

鍵盤蓋で指などをはさまないよう注意する

鍵盤蓋はゆっくり閉めてください。勢いよく閉めると指をはさみ、けがの原因になります。

上に乗らない

本機の上に乗ったり、圧力を加えない

変形したり、倒れる恐れがあり、故障やけがの原因になります。

使用しない

イスは次のように使用しない

- **イスを不安定な場所に置かない**
- **イスで遊んだり、踏み台にしない**
- **イスには 2 人以上で座らない**
- **イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）**
- **イス組立時、ネジをしっかり締める**

イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

ベンジー / シンナー禁止

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

色落ちや、変形の原因になります。清掃するときは、乾いた柔らかい布で拭いてください。

お手入れについて

本体	乾いた柔らかい布で拭いてください。
ペダル	表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります（ゴールドのペダルのみ）。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

保証書について

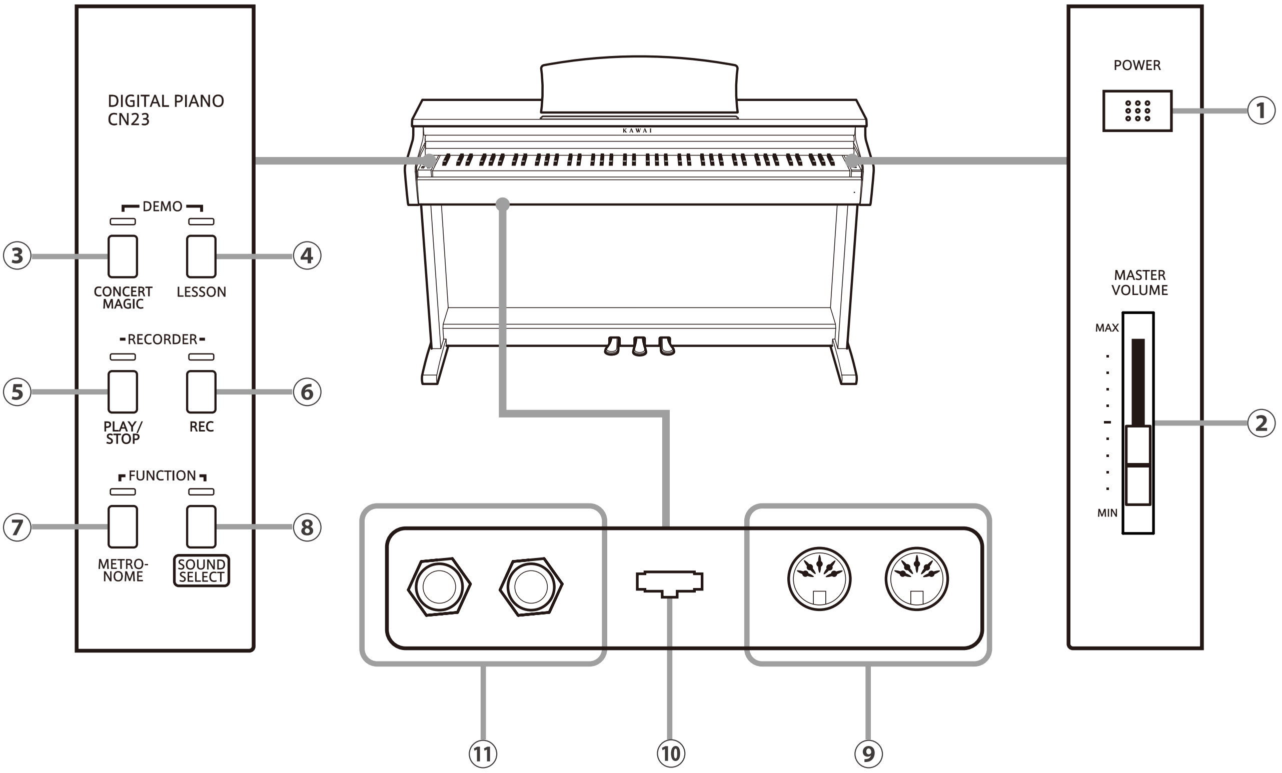
本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管ください。

修理について

万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡ください。弊社連絡先は取扱説明書の裏表紙に記載してあります。

各部の機能と名称



①［POWER（パワー）］スイッチ
電源をオン / オフするスイッチです。ご使用後は必ず電源を切ってください。

②［MASTER VOLUME（マスターボリューム）］スライダー
内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。

③［CONCERT MAGIC（コンサートマジック）］ボタン
鍵盤を弾くタイミングと強さに応じて内蔵曲を再生することができます。（P.16 参照）

④［LESSON（レッスン）］ボタン
練習曲を再生することができます。（P.13 参照）

⑤［PLAY/STOP（プレイ/ストップ）］ボタン
本製品に内蔵している曲やお客様の演奏を録音したものなどを再生 / 停止する際に使用します。

⑥［REC（レック）］ボタン
演奏を録音する際などに使用します。

⑦［METRONOME（メトロノーム）］ボタン
メトロノームのオン/オフやテンポ/拍子/音量を設定します。

⑧［SOUND SELECT（サウンドセレクト）］ボタン
音色を選択するボタンです。

⑨［MIDI IN / OUT（ミディイン アウト）］端子
MIDI 規格に対応している楽器と接続する端子です。

⑩［PEDAL（ペダル）］端子
ペダルユニットから出ているペダルケーブルを接続する端子です。

⑪［PHONES（ホーンズ）］端子
ヘッドホンを接続する端子です。ヘッドホンは 2 つまで接続できます。

付属のファンクションシールの使用

本製品にはファンクションシールが付属されています。メトロノームや設定モードなどで値を設定するときなどに、黒鍵の後ろ側に差しこんでおくと便利です。シールの左はし「ピアノ 1（オフ / ー）」を最低音の鍵盤に合わせて置きます。シールになっていますので、貼り付けることもできます。

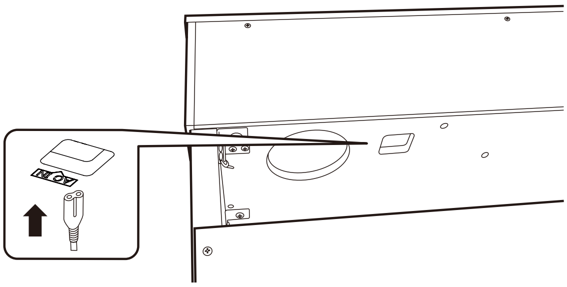
1/4		2/4		3/4	4/4		5/4	3/8		6/8	Vol－
ピアノ1	ピアノ2	ピアノ3	ピアノ4	エレクトリックピアノ1	エレクトリックピアノ2	ジャズオルガン	チャーチオルガン	ハープシコード	ビブラフォン	ストリングス1	ストリングス2
オフ/ー	オン/＋	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0

Vol＋										メトロノーム
クワイア	ファンタジー1	ファンタジー2								音色
タッチ	トランスポーズ	チューニング	リバーブ	ダンパーエフェクト	コンサートマジック	CH	Local	Multi	Program	設定

電源を入れる / アジャスターの調整 / 音量を調整する / ヘッドホンを使う

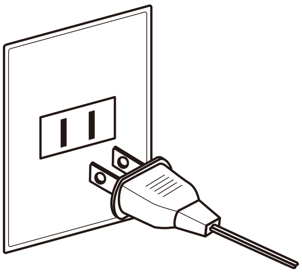
1. 電源コードを本体に接続する

付属の電源コードを、本体底面に差し込みます。



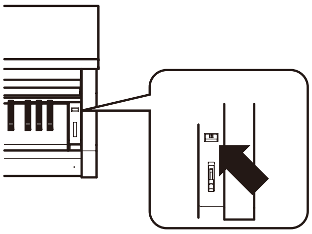
2. 電源コードをコンセントに接続する

電源コードを AC100V のコンセントに差し込みます。



3. 電源を入れる

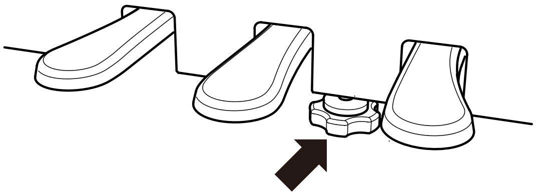
［POWER］スイッチを押して電源をオンにします。［POWER］スイッチを押すと［SOUND SELECT］が点灯し、電源ランプも点灯します。



電源を切るときは、もう一度 [POWER] スイッチを押します。ボタン・電源ランプが消灯します。

アジャスターについて

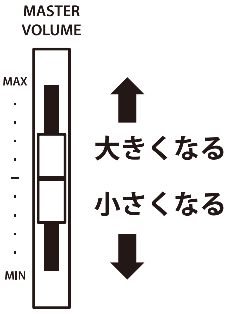
ペダル土台にはアジャスターがついています。アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用下さい。



音量を調整する

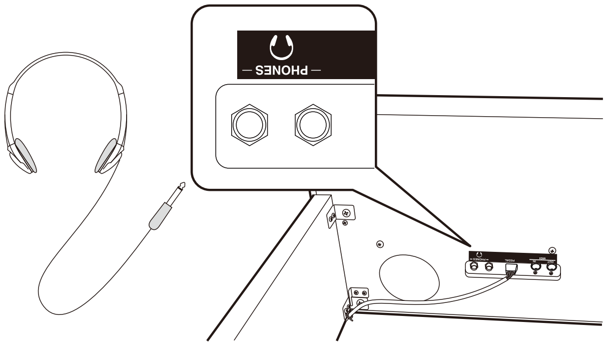
本体右にある [MASTER VOLUME] スライダーで音量を調整します。上側に動かすと音量が大きくなり、下側に動かすと小さくなります。

実際に鍵盤を弾いて音を鳴らしながら、音量を調節してください。



ヘッドホンを使う

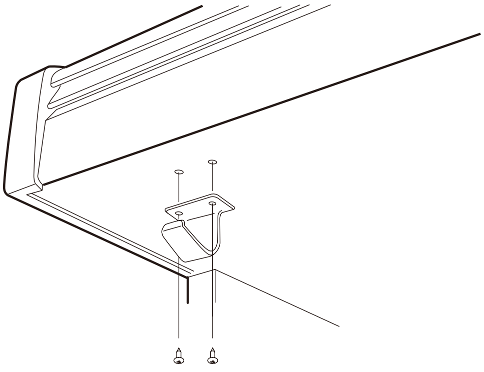
ヘッドホンを本体底面のジャックパネルの [PHONES] 端子に差し込みます。ヘッドホンを接続すると、本体スピーカーからは音が出なくなります。



ヘッドホンフックを使う

ヘッドホンを使わないときは、ヘッドホンフックにヘッドホンをかけておくことができます。

ヘッドホンフックを使用する場合は図のように取り付けてください。



いろいろな音色を楽しむ

CN23 には 15 の音が内蔵されていますので、さまざまな音楽に合わせた音で演奏を楽しむことができます。この内蔵されている音を「音色」といいます。音色の選び方は、次の 3 通りあります。電源 ON 時はピアノ 1 が選ばれています。* ピアノ 1 を選択すると、ランプが点灯します。それ以外だと、ランプは点滅します。

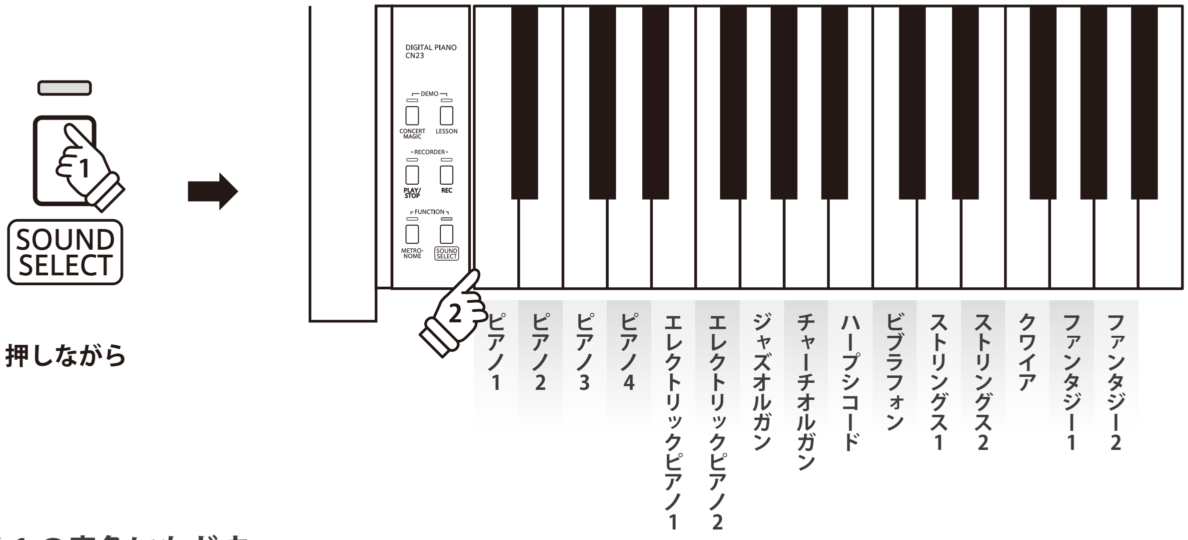
音色の選び方 1

［SOUND SELECT］ボタンを押すごとに順番に音色を変更することができます。

音色の選び方 2

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、白鍵の最低音から 15 鍵のどれかを押して選択します。

* 付属のファンクションシールを使うと便利です。



ピアノ 1 の音色にもどす

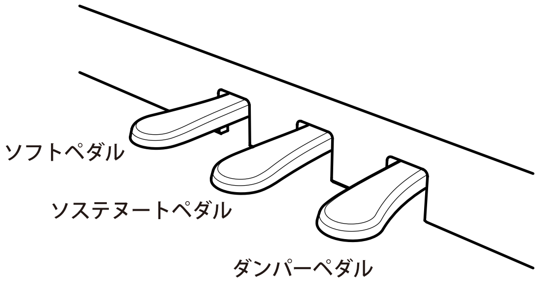
［SOUND SELECT］ボタンを 1 秒以上押しつづけると、どんな音色が選ばれていてもピアノ 1 にもどります。ランプも点灯にもどります。

ピアノ音色について

種類	
ピアノ 1	豊かな拡がりのあるグランドピアノの音です。
ピアノ 2	すっきりと澄んだグランドピアノの音です。
ピアノ 3	明るいポップス向きのグランドピアノの音です。
ピアノ 4	エッジの効いた明るくくっきりしたピアノの音です。

ペダルを使う

ペダルにはダンパーペダル / ソステヌートペダル / ソフトペダルがあります。これらはピアノ演奏のときに使われ、次のようなはたらきがあります。



ダンパーペダル（右のペダル）

このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離しても音が切れずに長く響かせることができます。

踏み具合により余韻の長さを調節することができます（ハーフペダル対応）。

ソステヌートペダル（中央のペダル）

鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

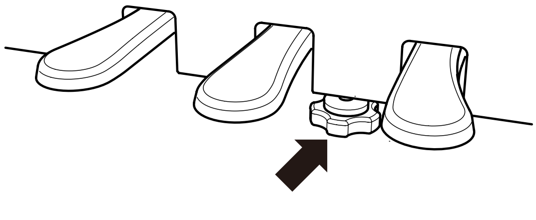
ソフトペダル（左のペダル）

音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

* 音色によっては効果がわかりにくいものもあります。

アジャスターについて

アジャスターが浮いた状態で使用すると、ペダル土台を破損する恐れがあります。必ずアジャスターが床についた状態でご使用下さい。



ペダルのお手入れについて

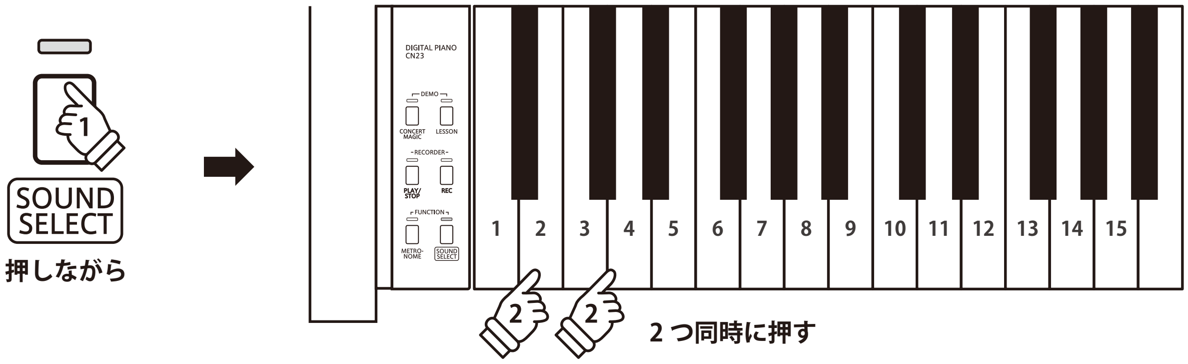
表面が汚れた場合、乾いた食器洗い用スポンジで拭くと綺麗になります。布ではかえって曇ってしまう場合があります（ゴールドのペダルのみ）。シルバーペダルは、布で拭いても問題ありません。サビ落し用の磨き剤ややすり等は使用しないでください。

デュアル演奏

デュアル演奏とは 2 つの音色を重ね合わせる機能です。2 つの音色が同時に発音されメロディーをデュエットさせたり、同系統の音色を混ぜて厚みのある音を作り出すことで音楽表現の幅が広がります。

デュアル演奏に入る

［SOUND SELECT］ボタンを押しながら、白鍵の最低音から 15 鍵を 2 つ同時に押すと、鍵盤に割り当てられた 2 つの音色を重ねることができます。（音色の割り当ては P.8 を参照）



デュアル演奏を終了する

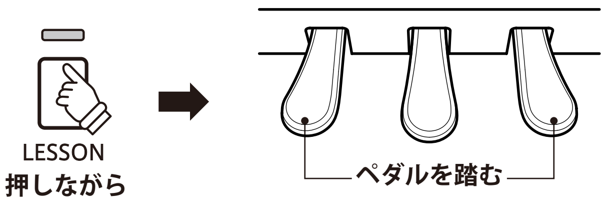
デュアル演奏の解除は［SOUND SELECT］ボタン押します。ピアノ 1 が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。

4 ハンズモードを楽しむ（連弾演奏）

4 ハンズモードとは鍵盤のほぼ中央で左右 2 つに分け、それぞれ同じ音域で演奏することです。この時ダンパーペダル（右ペダル）は右側の鍵盤のダンパーペダルとして、ソフトペダル（左ペダル）は左側の鍵盤のダンパーペダルとして動作しますので、まるで 2 台のピアノのように使うことができます。

4 ハンズモードに入る

［LESSON］ボタンを押しながらダンパーペダル（右ペダル）とソフトペダル（左ペダル）を踏みます。［LESSON］ボタンが点滅します。



音色変更

通常の音色を選ぶ方法で、音色を選ぶことができます。両方の音域が同じ音色に設定されます。

4 ハンズモードを終了する

再度［LESSON］ボタンを押します。［LESSON］ボタンが消灯します。

メトロノームを使う

メトロノームを鳴らしてテンポを正しく練習することができます。

メトロノームの ON / OFF

［METRONOME］ボタンを押します。［METRONOME］ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。再度［METRONOME］ボタンを押すとメトロノームが止まり、［METRONOME］ボタンが消灯します。

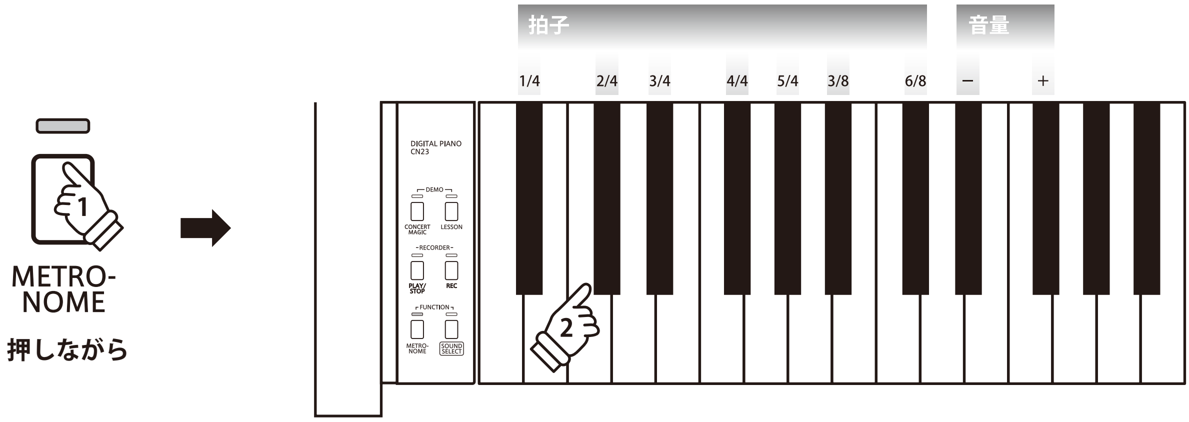
* 電源 ON 時は、1/4 拍子 , テンポ 120 の設定になります。

拍子・音量の設定

［METRONOME］ボタンを押しながら、対応した黒鍵を押すと拍子・音量を設定できます。拍子は 1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8 より選択することができます。

*1/4 拍子選択時には、アクセント音が無いクリック音だけになります。

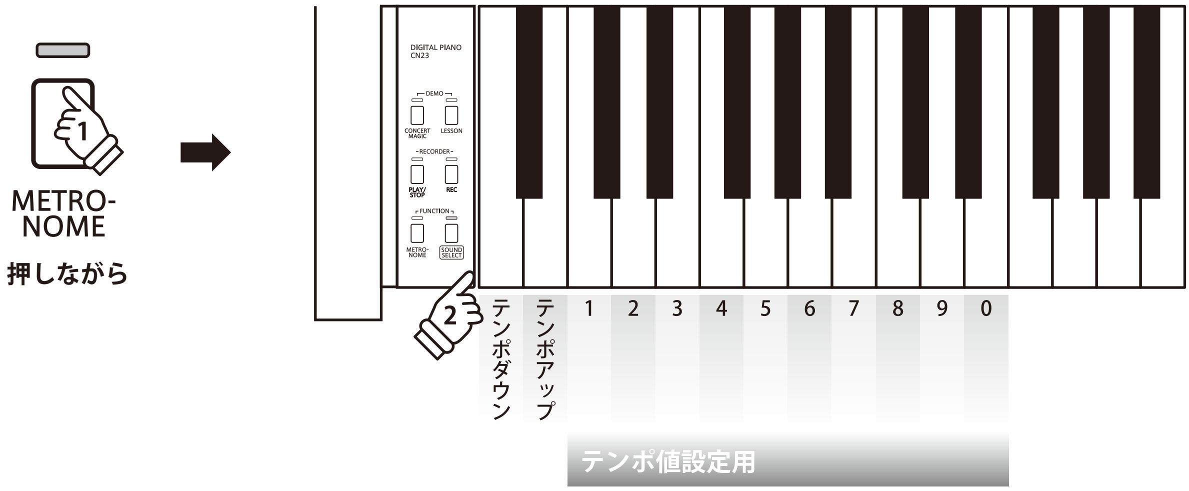
* 音量は -/+ を押すことで少しずつ調整することができます。



テンポの設定

［METRONOME］ボタンを押しながら、対応した白鍵を押すとテンポの値を設定できます。値は 10 〜 300 の範囲で設定できます。値は 1 分間の拍数を表しています。

*［METRONOME］ボタンを離したとき、指定した値に設定されます。



操作例 1.　メトロノームのボタンを押しながら、「1」「3」「6」の鍵盤を押します。メトロノームボタンを離すとテンポが 136 に設定されます。

操作例 2.　メトロノームのボタンを押しながら、テンポアップまたはテンポダウンの鍵盤をくり返し押すことで、現在のテンポから少しずつテンポを調整することができます。（テンポの値を 2 ずつ上下できます）

デモ曲を聴く

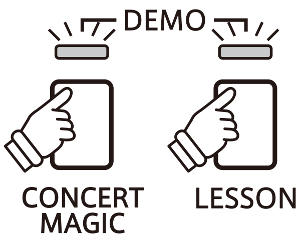
CN23 には各音色ボタンごとにデモ曲を内蔵しています。それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。内蔵デモ曲についてはデモ曲一覧（P.26）をご参照ください。

1. デモ曲を聴く・停止する

［CONCERT MAGIC］ボタンを押しながら［LESSON］ボタンを押すと、「ピアノ 1」のデモ曲が演奏されます。

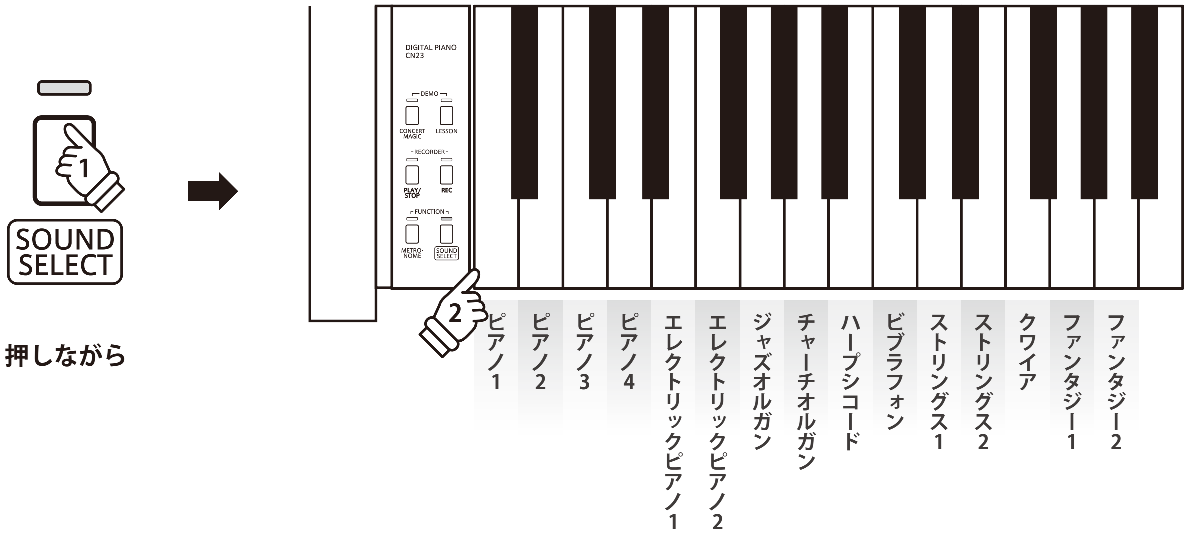
演奏を止めるには、［CONCERT MAGIC］または［LESSON］ボタンを押します。

* 演奏を止めなければ、各音色のデモ曲が順不同に演奏されます。



2. デモ曲を選択する

デモ曲演奏中、音色を選択すると（P.8 の音色の選び方参照）デモ曲も同時に変わります。



レッスン機能を楽しむ

1 練習したい曲を選ぶ

CN23 はバイエル（バリエーション 20 曲を含む 126 曲）、ブルクミュラー 25 の練習曲（25 曲）の練習曲を全曲内蔵しています。

ここではレッスン機能を使ってできることと練習したい曲を選ぶ方法を説明します。

* ブルクミュラーについては通常再生とペダルなし再生で 25 曲ずつ再生できます。

レッスン機能を使って

内蔵曲集から 1 曲を選んで次のような練習ができます。

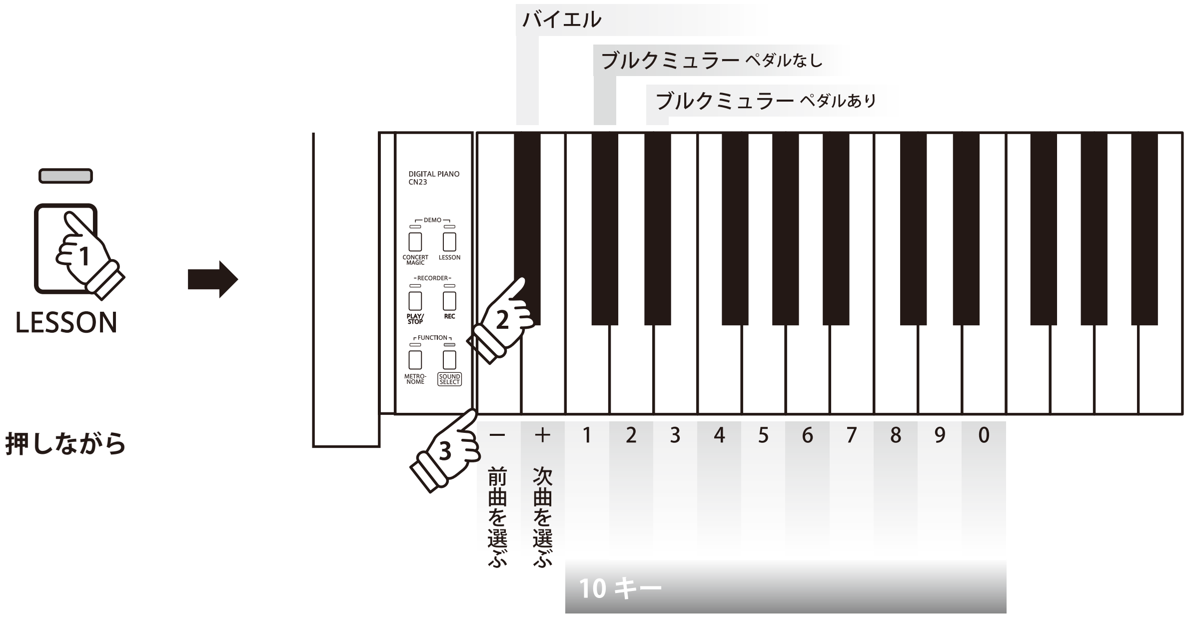
1. 見本曲を再生して曲想を覚える。
2. 見本曲の左手（右手）パートを再生しながら右手（左手）パートを練習する。
3. テンポを変更して練習する。

1. 曲集を選択する

練習したい曲集を選びます。［LESSON］ボタンを押しながら曲集が割り当ててある黒鍵を押します。

2. 曲を選択する

［LESSON］ボタンを押しながら対応した白鍵を押して曲番号を入力します。その後［LESSON］ボタンを離します。



バイエルのバリエーションを選ぶ

バイエルは全部で 106 番まであり、そのうち 1 番と 2 番にはバリエーションがそれぞれ 12 曲と 8 曲ずつあります。

［LESSON］ボタンを押しながらバイエルの黒鍵を押し、1 または 2 の白鍵 を押します。バリエーションの数だけ＋を押します。（1-2 の場合は＋を 2 回押します）

その後 [LESSON] ボタンを離します。

バイエルの構成	
1 番	テーマ
1-1 ～ 1-12	バリエーション
2 番	テーマ
2-1 ～ 2-8	バリエーション
3 番	
4 番	
⋮	
106 番	

2 練習曲を聴く

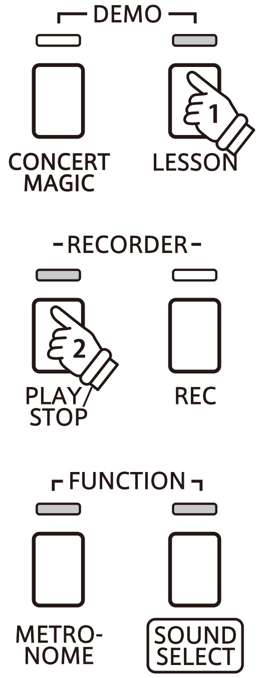
ここでは内蔵されている練習曲を聴く方法を説明します。

1. 練習曲を聴く

（曲選択は前ページを参照）

［LESSON］ボタンを押します。［LESSON］ボタンが点灯します。［PLAY / STOP］ボタンを押すと［PLAY / STOP］ボタンが点灯し、メトロノームが 1 小節鳴った後、見本曲が再生されます。

* 音色は自動的にピアノ 1 になります。

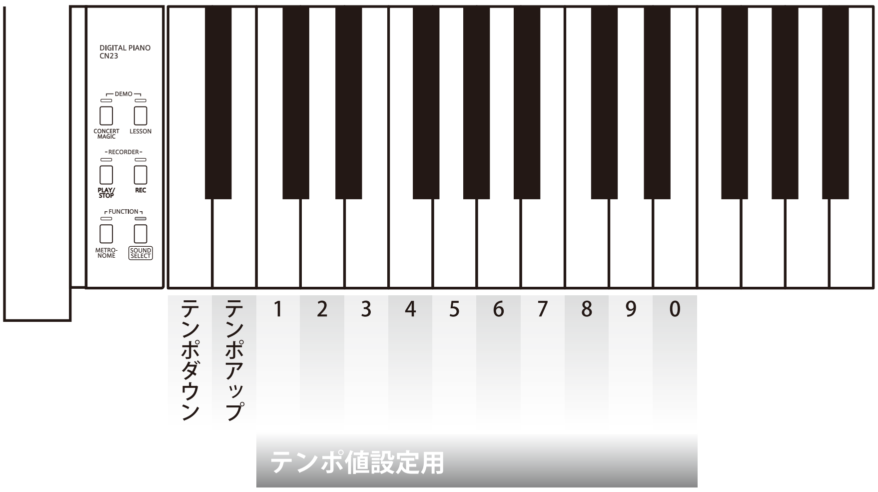


［PLAY / STOP］ボタンをもう一度押すと見本曲の再生が止まります。もう一度［PLAY / STOP］ボタンを押すと止めたところから再生が始まります。

最初から再生したい場合には、［PLAY / STOP］ボタンをを 1 秒以上押すか、選曲し直します。［PLAY / STOP］ボタンが消灯して先頭にもどります。

見本曲再生中はメトロノームが再生されませんが、メトロノームを鳴らしたい場合には、［METRONOME ］ボタンを押します。曲に応じた拍子が鳴ります。

練習曲のテンポを変更して聴きたい場合には、［METRONOME ］ボタンを押しながら対応した鍵盤を押してテンポの指定をします。元のテンポに戻す場合には［METRONOME ］ボタンを押しながら鍵盤のテンポアップとテンポダウンを同時に押します。



2. レッスン機能を終了する

もう一度［LESSON］ボタンを押すとレッスン機能を終了します。

3 片手で練習する

ここでは練習曲を聴きながら右手、左手別々に練習する方法を説明します。

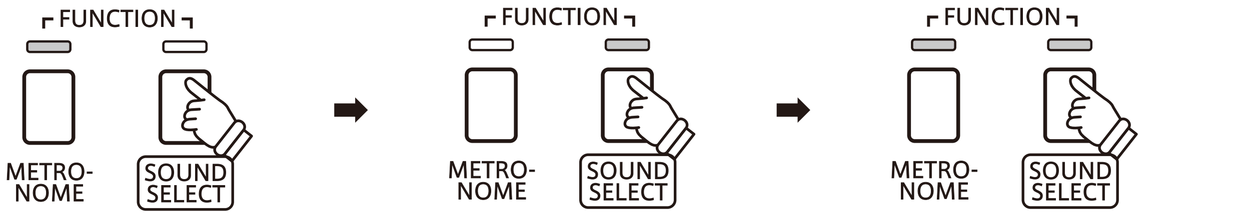
レッスンモードに入った時、[METRONOME] ボタンと [SOUND SELECT] ボタンの両方が点灯します。これは左右両方のパートが再生されていることを示しています。

パートの選び方 1

練習曲を選択した後、[SOUND SELECT] ボタンを押します。[SOUND SELECT] ボタンが消灯して [METRONOME] ボタンのみが点灯します。これで左手のパートのみ再生されるようになります。

［[SOUND SELECT] ボタンを 2 回押すと [METRONOME] ボタンが消灯して [SOUND SELECT] ボタンが点灯します。これで右手パートのみが再生されるようになります。

［PLAY / STOP］ボタンを押すと選択されたパートのみが再生されます。

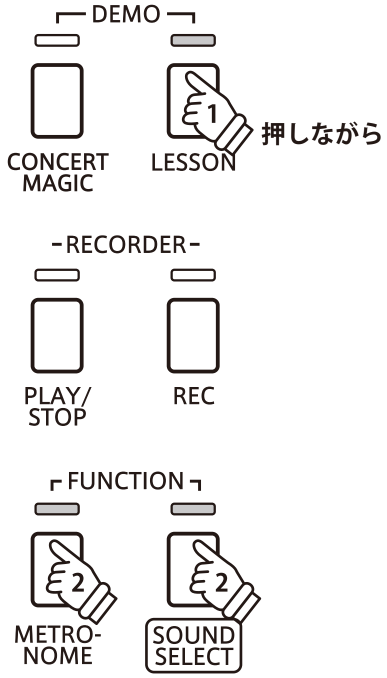


1 回押すと左手パートのみ　**2 回押すと右手パートのみ**　**3 回押すと両手パートにもどる**

パートの選び方 2

パートをダイレクトに選ぶことができます。[LESSON] ボタンを押しながら再生したいパートのボタンを押します。

一度レッスンモードを終了してすぐに入り直せば通常再生に戻ります。



コンサートマジックを楽しむ

1 コンサートマジックとは？

コンサートマジックとは、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。CN23 にはコンサートマジック曲を 40 曲内蔵しており、下記の 2 つのモードで演奏を楽しむことができます。曲名についてはコンサートマジック曲名一覧（P.26）をご参照ください。

モード 1	メロディーに関係なく、等間隔に鍵盤をたたいて曲を進めます。たたく間隔で曲の速さが決まります。鍵盤をたたく強さによって曲の強弱をつけることもできます。電源オン時のモードです。
モード 2	曲の音符通りに鍵盤をたたいて曲を進めます。モード 1 より難しいですが、1 音 1 音にタイミングの変化をつけることができます。

2 コンサートマジックを演奏しよう

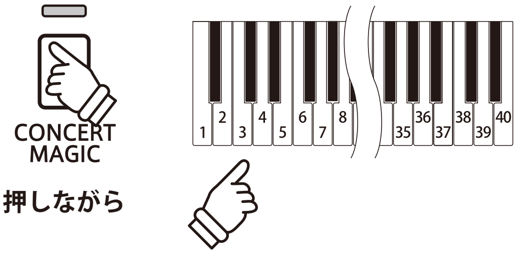
ここでは、内蔵のコンサートマジック曲の選択と演奏方法を説明します。

1. コンサートマジックモードに入る

［CONCERT MAGIC］ボタンを押すと、ランプが点灯しコンサートマジックモードに入ります。

2. 曲を選択する

［CONCERT MAGIC］ボタンを押しながら曲が割り当てられている鍵盤（白鍵）を押します。コンサートマジック曲は、白鍵の最低音から 40 の白鍵に 1 曲ずつ割り当てられており、鍵盤で曲を選択します。



3. コンサートマジックを楽しむ

鍵盤を弾いてみましょう。どの鍵盤でもタクトのように拍子をとるようにたたけば演奏を進めることができます。鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。テンポの変化をつけることもできます（モード 1）。

また、少し難しいですが、音符のタイミング通りに鍵盤をたたいて進めるモード 2 に切り換えることもできます。（P.22 参照）

通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

4. コンサートマジックモードを終了する

［CONCERT MAGIC］ボタンを押すとコンサートマジックモードを終了します。

3 コンサートマジック曲を聴いてみよう

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

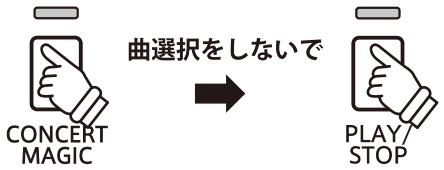
通常再生

[CONCERT MAGIC] ボタンを押しながら鍵盤を押して選曲した後、[PLAY / STOP] ボタンを押します。
選択されている曲が繰り返し再生されます。

演奏を止めるにはもう一度[PLAY / STOP] ボタンを押します。

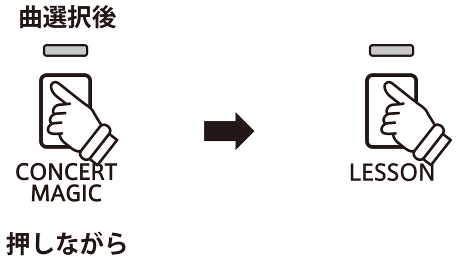
チェイン再生

コンサートマジックモードに入り鍵盤で曲選択をせずに、［PLAY / STOP］ボタンを押します。1 曲目から 40 曲目まで順番に繰り返し再生します。



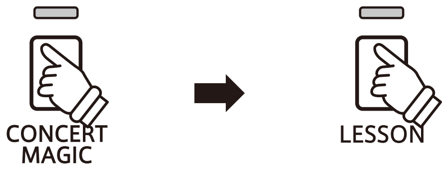
グループ再生

[CONCERT MAGIC] ボタンを押しながら鍵盤を押して選曲し、そのまま([CONCERT MAGIC] ボタンを離さないで) [LESSON] ボタンを押します。選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。
例えば、No.11 の「聖者の行進」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.11 ～ No.17 のグループ「アメリカのクラシック音楽」を繰り返し再生します。



ランダム再生

［CONCERT MAGIC］ボタンを押した後、手を離し [LESSON] ボタンを押します。その後ストップするまでコンサートマジック内蔵曲がランダムに演奏されます。
ただし 1 曲目は「きらきら星」です。

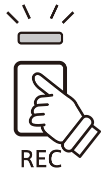


演奏を録音する

CN23 は本体に 3 曲（3 ソング）まで録音して再生することができます。

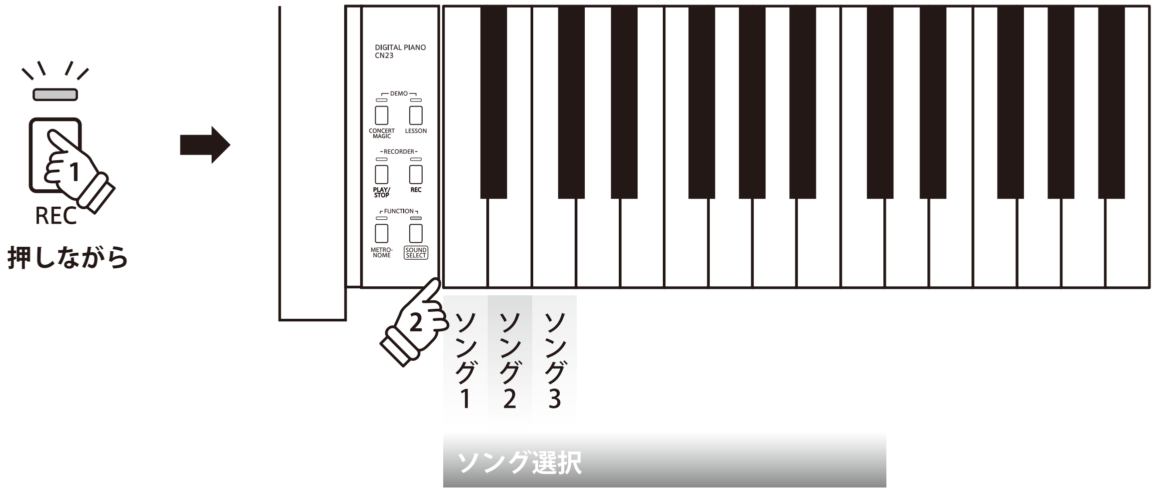
1. 録音モードに入る

［REC］ボタンを押します。［REC］ボタンが点滅します。



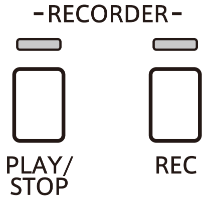
2. ソングの設定をする

［REC］ボタンを押しながら録音したいソング番号が割り当てられている白鍵を押します。すでに録音されているソングに録音すると、以前まであった演奏データが消去されて新しい演奏データが記憶されます。



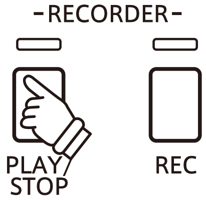
3. 録音をスタートする

演奏を始めると自動的に録音がスタートします。このとき［REC］ボタンと［PLAY / STOP］ボタンが点灯します。
［PLAY / STOP］ボタンを押しても録音を開始できます。



4. 録音をストップする

演奏が終わったら［PLAY / STOP］ボタンを押して録音を終了します。［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンが消灯し録音が停止します。



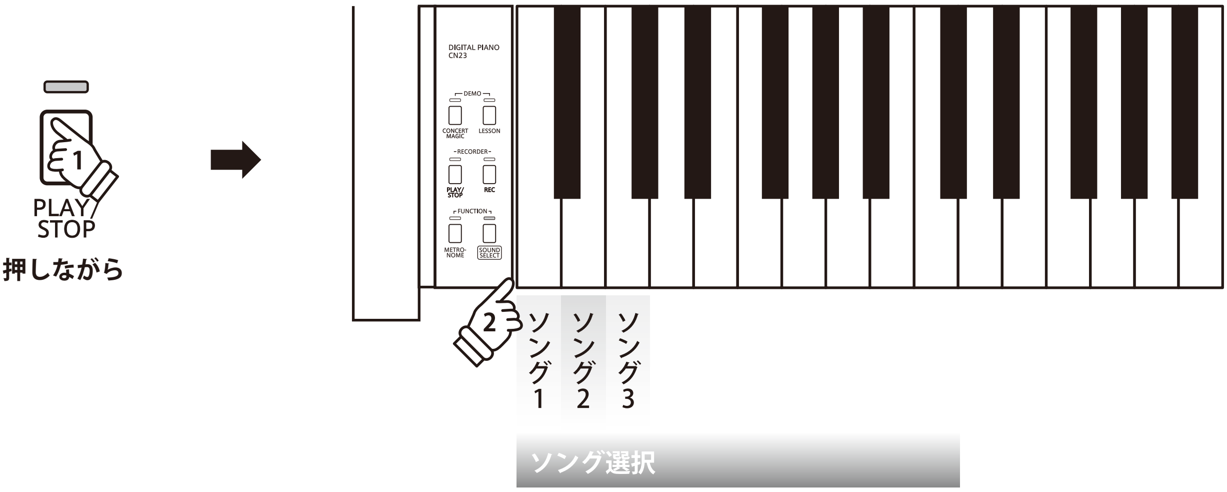
* 録音データの書き込み中は [SOUND SELECT] ボタンが消灯します。その間は決して電源を切らないでください。

録音した演奏を聴いてみる

録音した曲を聴いてみましょう。

1. 聴きたいソング番号を選ぶ

［PLAY / STOP］ボタンを押しながら聴きたいソング番号が割り当てられている白鍵を押します。



2. 再生する

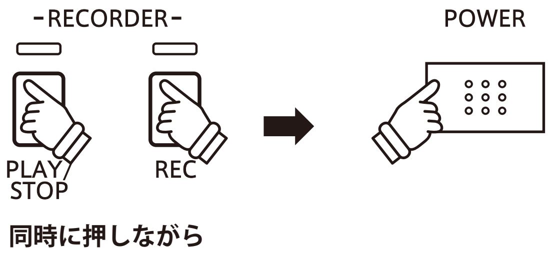
［PLAY / STOP］ボタンを押すと点灯し、再生がスタートします。
演奏を停止するには、再度［PLAY / STOP］ボタンを押します。

録音した演奏を消去する

CN23 に録音した演奏を消去する方法を説明します。録音したすべての曲が消去されますのでご注意下さい。

▌録音した演奏を消去する

［PLAY / STOP］ボタンと［REC］ボタンを同時に押しながら、電源を ON にします。
録音した曲がすべて消去されます。



設定メニューについて

CN23 では演奏を楽しむためのさまざまな便利な設定をすることができます。

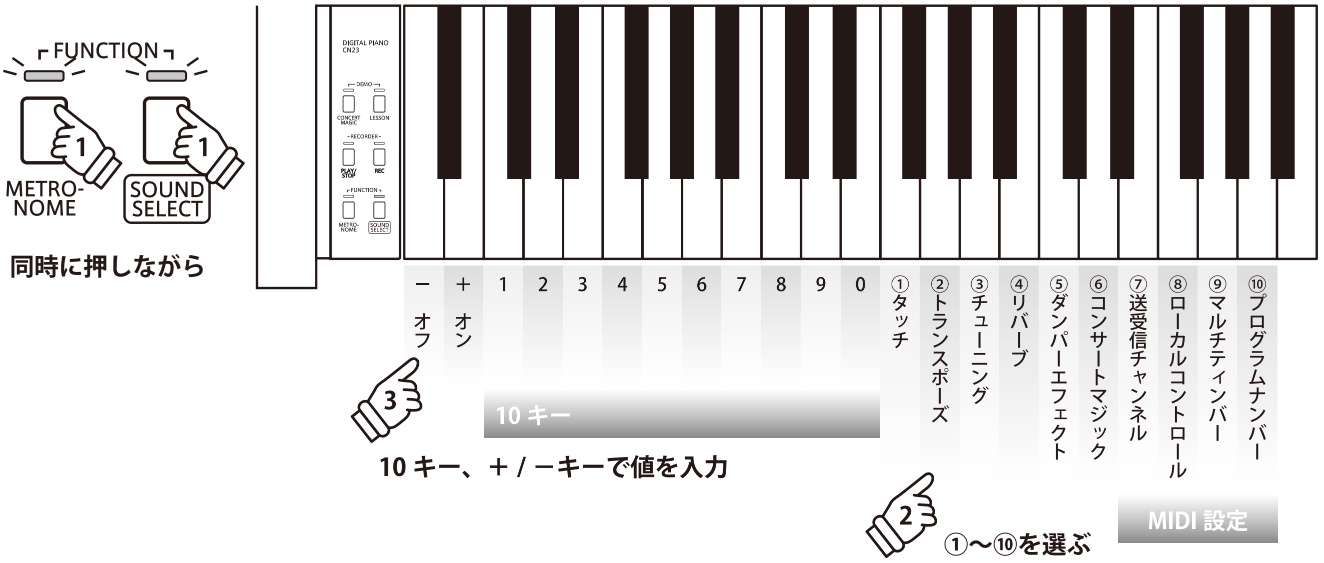
1. 設定モードに入り設定項目を選ぶ

[METRONOME] ボタンと [SOUND SELECT] ボタンを同時に押しながら（設定中は常に押し続けます）、設定したい項目①～⑩の鍵盤を押して設定項目を選びます。設定中は [METRONOME] ボタンと [SOUND SELECT] ボタンが点滅します。

* コンサートマジックボタンまたはレッスンボタン点灯中は設定モードに入れません。

2. 値を設定する

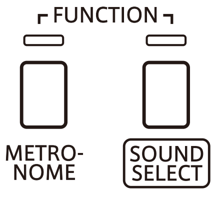
鍵盤に割り当てられている 10 キー、もしくは＋ (on) / － (off) キーで値を入力します。



3. 設定モードから抜ける

押し続けた [METRONOME] ボタンと [SOUND SELECT] ボタンを離します。

* 電源を入れたときは、ここで設定した値はリセットされ、自動的に下記初期値に設定されます。



■設定メニュー

設定メニューの内容は以下の通りです。

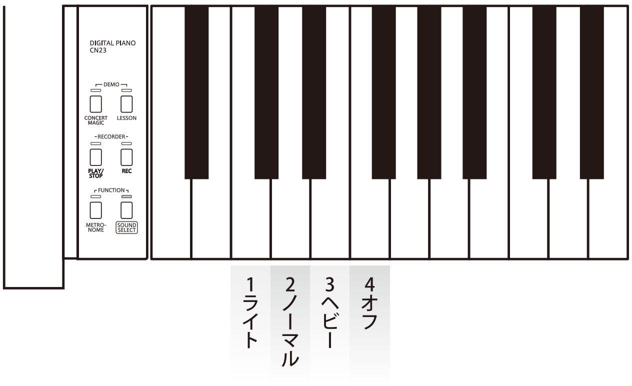
設定項目	初期設定
1. タッチ（鍵盤を弾く強さによる音量）	ノーマル
2. トランスポーズ（鍵盤の調）	0
3. チューニング（本体のピッチ）	A4 ＝ 440.0Hz
4. リバーブ（残響）	オン
5. ダンパーエフェクト	2（普通）
6. コンサートマジック演奏方法	モード 1
7. MIDI 送受信チャンネル	1ch
8. ローカルコントロール	オン
9. マルチティンバーモード	オフ
10. プログラム（音色）ナンバー	オン

設定メニュー

1 タッチ

鍵盤を弾く強さによる音量を変更できます。指の強さ、お好みに合わせて、4 種類のなかから選択できます。

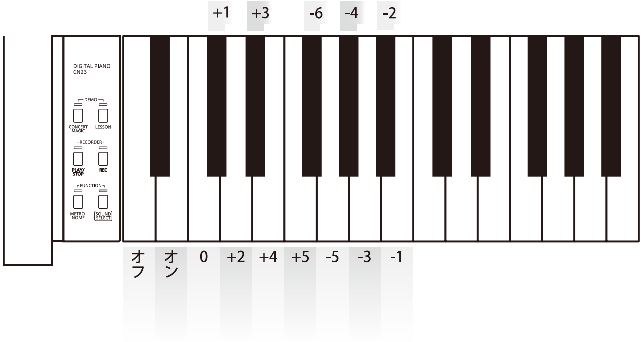
種類	効果
①ライト	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。
②ノーマル	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
③ヘビー	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
④オフ	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。



2 トランスポーズ

トランスポーズとは半音単位で調を変えることです。キー（調）の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾く鍵盤を変えずに簡単に移調できます。

オンオフキーを使えば設定値をかえずにトランスポーズのオンオフができます。右図の鍵盤でトランスポーズの値を設定した場合はオンになります。



3 チューニング

チューニングとは他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。合奏のときや CD の再生に合わせて演奏するときなど、音程を合わせたいときに使用します。

442Hz 等と周波数を設定する方法と、他の楽器の音に合わせて上げたり下げたりする 2 つの方法があります。電源を入れた時は、A4 = 440Hz に設定されます。0.5Hz 単位で設定できます。

操作 1

設定モードに入り、「③チューニング」の鍵盤を押し 10 キーで周波数を設定します。

例えば、「A4 = 441.5Hz」に設定する場合、鍵盤「4」「4」「1」を押し、さらに「＋」を押します。もしくは、鍵盤「4」「4」「2」を押し、さらに「－」を押します。

*427 ～ 453Hz の範囲で設定できます。

操作 2

設定モードに入り、「③チューニング」の鍵盤を押し＋ (on) / － (off) キーで上げたり下げたりします。

この操作では、0.5Hz 刻みで値が変更できます。

4 リバーブ（残響）

　リバーブを加えると、音に残響効果が加わりコンサートホールで演奏しているような深みのある美しい響きが得られます。各音色はあらかじめ最適なリバーブの設定になっています。

リバーブの種類

リバーブ名	効果
ルーム	室内で演奏しているときにかかる残響効果が得られます。
ステージ	ステージで演奏しているときにかかる残響効果が得られます。
ホール	ホールで演奏しているときにかかる残響効果が得れます。

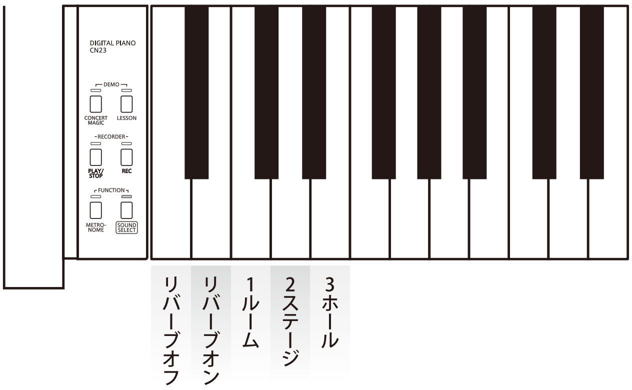
リバーブの ON / OFF とタイプ変更

　設定モードに入り､「リバーブ」の鍵盤を押し「オン / オフ」の設定、タイプの設定をします。

　リバーブは各音色ごとに設定できます。

* ルーム→ステージ→ホールの順にリバーブが長くなります。

* タイプを設定するとリバーブはオンの状態になります。

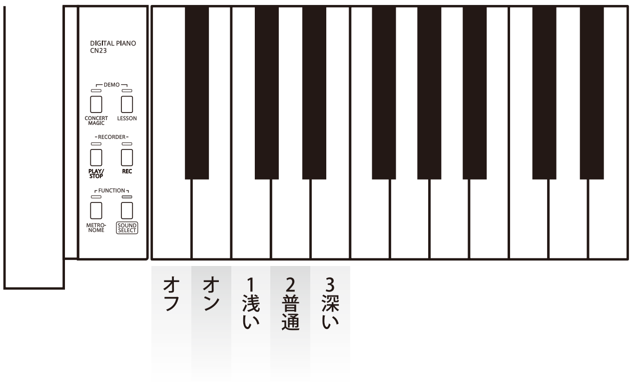


5 ダンパーエフェクト

　ピアノ音色でダンパーペダルを踏んだ時の共鳴効果の深さを変えることができます。

　設定モードに入り､「ダンパーエフェクト」の鍵盤を押し「オン / オフ」の設定、深さの設定をします。

* 深さを設定するとダンパーエフェクトはオンの状態になります。



6 コンサートマジックの演奏モードを切り換える

　コンサートマジックは 2 通りの演奏方法で楽しむことができます。（P.16 参照）

　設定モードに入り､「コンサートマジック」の鍵盤を押し「モード 1 (− , off キー）/ モード 2（＋ , on キー）」を切り替えます。

モード 1	メロディーに関係なく、等間隔に鍵盤をたたいて曲を進めます。たたく間隔で曲の速さが決まります。鍵盤をたたく強さによって曲の強弱をつけることもできます。電源オン時のモードです。
モード 2	曲の音符通りに鍵盤をたたいて曲を進めます。モード 1 より難しいですが、1 音 1 音にタイミングの変化をつけることができます。

7 MIDI 送受信チャンネル

接続された MIDI 楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。チャンネルは送信チャンネルと受信チャンネルの 2 種類がありますが、CN23 では送受信を別々のチャンネルに設定することはできません。1 つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

設定モードに入り、「MIDI 送受信チャンネル」の鍵盤を押し 10 キーでチャンネルを設定します。

* 入力は、必ず 2 桁で行います。 9 チャンネルに設定する場合は、「0」「9」と入力します。

*MIDI チャンネルは、1 ～ 16 の間で設定できます。

8 ローカルコントロール

ローカルコントロールでは本体の鍵盤を弾いて音を出すか・出さないかを設定します。

ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。

ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らず MIDI 情報を送信するだけで MIDI 情報を受信したときのみ音が鳴ります。

設定モードに入り、「ローカルコントロール」の鍵盤を押し「オン / オフ」を設定します。

9 マルチティンバーモード

通常は、前述の方法で設定された MIDI チャンネル（1 ～ 16 のどれか 1 つ）で情報を送受信しますが、マルチティンバーモードをオンすることにより、複数の MIDI チャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。（受信プログラムナンバーに対応した音色は、付録の一覧（P.30）をご参照ください。）

この機能により、外部のシーケンサーを使って、CN23 1 台で複数の音色（マルチティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。（マルチティンバーモードオンの時、10ch で受信したデータは発音しません。）

設定モードに入り、「マルチティンバーモード」の鍵盤を押し「オン / オフ」を設定します。

10 プログラムナンバー送信

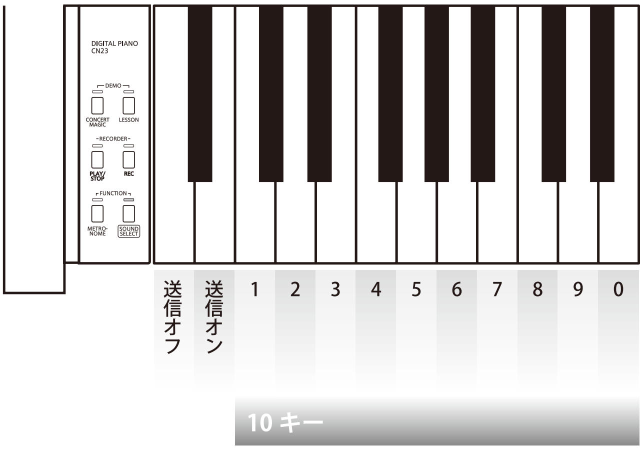
CN23 では 1 ～ 128 までのプログラムナンバーを送信することができます。

設定モードに入り、「プログラムナンバー送信」の鍵盤を押し「オン / オフ」の設定、プログラムナンバーの送信をします。

* プログラムナンバーの入力は、3 桁で行います。例えば、プログラムナンバー 1 を入力する場合は、「0」「0」「1」と入力します。

*001 ～ 128 までの範囲で送信可能です。

*3 桁目が入力されると同時に、プログラムナンバーが送信されます。



MIDI について

MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interface の略称で、シンセサイザーやシーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

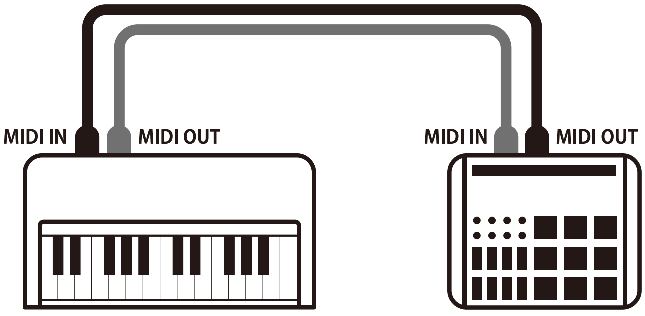
MIDI 端子の種類

CN23 の MIDI 端子には、IN，OUT の 2 つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

MIDI 端子名	機能
IN	鍵盤情報や音色情報を受信します。
OUT	鍵盤情報や音色情報を送信します。

MIDI の使用例

図の様にシーケンサーに接続すれば、CN23 の演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができデジタルピアノの練習に役立てることができます。また、CN23 の設定をマルチティンバーオン（P.23 参照）にして録音 / 再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラフォンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。



CN23 の MIDI 機能

鍵盤情報の送信・受信
CN23 を弾いて MIDI で接続したシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

送信・受信チャンネルの設定
送信受信チャンネルを 1 ～ 16 の範囲で設定することができます。

プログラム（音色）ナンバーの送信
CN23 を弾いて MIDI で接続したシンセサイザーの音色を変えたり、その逆が可能です。

ペダル情報の送信・受信
ダンパーペダル、ソフトペダル、ソステヌートペダルの ON / OFF 情報の送信・受信ができます。

ボリューム情報の受信
シンセサイザー等を弾いて、CN23 の音を出しているとき、シンセサイザーで CN23 の音量をコントロールすることができます。

マルチティンバーの設定
CN23 が受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことができます。

エクスクルーシブデータの送信・受信
フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

CN23 の MIDI 機能についての詳細は、「MIDI インプリメンテーションチャート 」（P.30）をご覧ください。

付録

困ったときは？

音が出ない

1. ローカルコントロールがオフになっていませんか？（P.23 参照)

2. ヘッドホンが接続されていませんか？（P.7 参照)

3. 音量が 0 になっていませんか？（P.7 参照)

ヘッドホンを使っていないのに、スピーカーから音が出ない

付属のヘッドホンには、プラグにアダプターが付いています。このアダプターが楽器に付いたままになっていると、スピーカーからの音は出ません。

特定の演奏、特定の音域で音が歪む

ボリュームを大きくすると､演奏によっては音が歪む場合があります。その場合､音量を小さくして使用してください。

特定のピアノ音色で異音やノイズが聴こえる

グランドピアノの音は様々な響きが複雑に混ざり合うことで豊かな音色を実現しています。それらの響きの中には、金属的な音やノイズ系の音も含まれています。また 1 鍵 1 鍵異なる響きをもっています。本機はピアノに限りなく近い音を実現させているため、このような音も再生されます。これは異常ではありません。

ペダルがきかない/きいたりきかなかったりする

1. ペダルコードと楽器の接続をご確認ください。接続されていた場合は、一度抜いてカチッと音がするまでしっかりと差しなおしてみてください。

2. アジャスターが適正な長さになっているか、ご確認ください。

ペダルを踏むと、ぐらぐらする

アジャスターが適正な長さになっているか、ご確認ください。

レッスン曲がスタートしない

曲を選んだあと、[PLAY / STOP] ボタンを押してください。

音色名 / デモ曲 / コンサートマジック曲 一覧

音色名 / デモ曲

音色名	曲名	作曲者名
ピアノ 1	オリジナル	カワイ
ピアノ 2	子犬のワルツ	ショパン
ピアノ 3	オリジナル	カワイ
ピアノ 4	オリジナル	カワイ
エレクトリックピアノ 1	オリジナル	カワイ
エレクトリックピアノ 2	オリジナル	カワイ
ジャズオルガン	オリジナル	カワイ
チャーチオルガン	コラール前奏曲 " 目覚めよ、と呼ぶ声あり "	バッハ
ハープシコード	フランス組曲第 6 番	バッハ
ビブラフォン	オリジナル	カワイ
ストリングス 1	四季 " 春 "	ヴィヴァルディ
ストリングス 2	オリジナル	カワイ
クワイア	ダニーボーイ	アイルランド民謡
ファンタジー 1	オリジナル	カワイ
ファンタジー 2	オリジナル	カワイ

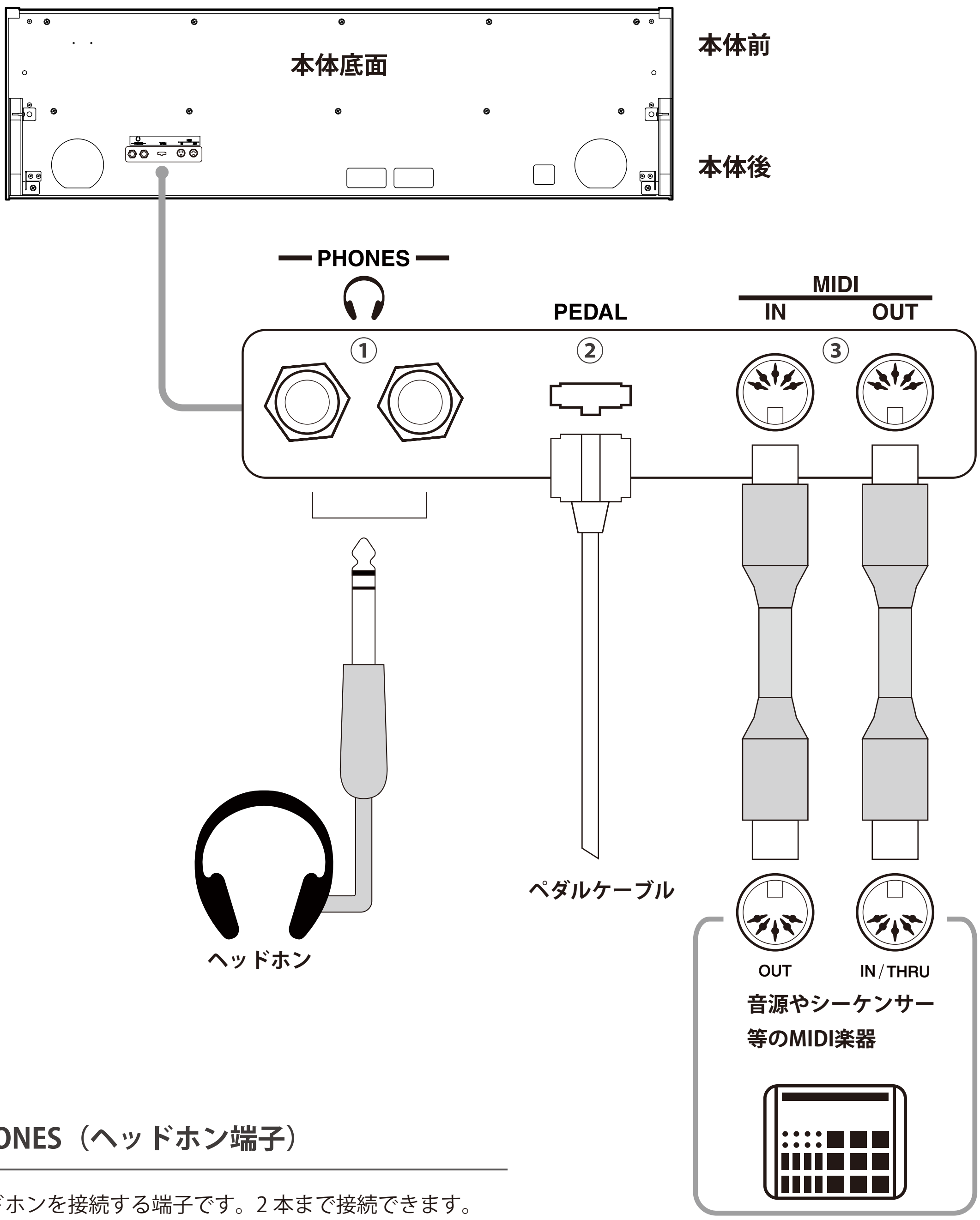
コンサートマジック曲

	曲名	作曲者名
	子供の曲（10 曲）	
1	きらきら星	フランス民謡
2	ロンドン橋	イギリス民謡
3	ふるさと	岡野貞一
4	山の音楽家	ドイツ民謡
5	もみじ	岡野貞一
6	ゆき	文部省唱歌
7	10 人のインディアン	アメリカ民謡
8	さくらさくら	日本古謡
9	わらの中の七面鳥	アメリカ民謡
10	もりのくまさん	アメリカ民謡
	アメリカのクラシック音楽（7 曲）	
11	聖者の行進	アメリカ民謡
12	おじいさんの古時計	アメリカ民謡
13	リパブリック賛歌	アメリカ民謡
14	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
15	ケンタッキーの我が家	フォスター
16	草競馬	フォスター
17	線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡
	クラシック（15 曲）	
18	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
19	天国と地獄	オッフェンバック
20	エンターティナー	ジョプリン
21	花のワルツ	チャイコフスキー
22	スケーターズ ワルツ	ワルトトイフェル
23	闘牛士の歌	ビゼー
24	ブラームスの子守歌	ブラームス
25	アメリカン パトロール	ミーチャム
26	眠りの森の美女	チャイコフスキー
27	ガボット	ゴセック
28	軍隊行進曲	シューベルト
29	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー
30	エリーゼのために	ベートーベン
31	結婚行進曲	メンデルスゾーン
32	婚礼の合唱	ワーグナー
	クリスマスの曲（4 曲）	
33	おめでとうクリスマス	イギリス民謡
34	ジングルベル	ピアポント
35	もろ人こぞりて	讃美歌
36	きよしこの夜	グルーバー
	世界の民謡（4 曲）	
37	フニクリフニクラ	デンツァ
38	こぎつね	ドイツ民謡
39	アニーローリー	スコットランド民謡
40	サンタルチア	ナポリ民謡

別売コンサートマジック曲集について

これらの曲が掲載された楽譜集「コンサートマジック曲集 Vol. 2」（￥2, 600）が発売されております。楽譜掲載 88 曲中に、これらの 40 曲が全て含まれています。同封の「楽譜集のご案内」をご参照ください。また、お申し込みは同封の払込用紙をご利用ください。コンサートマジックの魅力的な世界が一層広がります。

他の機器との接続



① PHONES（ヘッドホン端子）

ヘッドホンを接続する端子です。2 本まで接続できます。

② PEDAL（ペダル端子）

ペダルユニットから出ているペダルケーブルを接続する端子です。

③ MIDI（ミディ）

MIDI 規格に対応している楽器と接続する端子です。

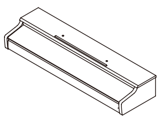
・他の機器と接続する時はCN23の電源を切ってから行ってください。電源が入っている時に行うとノイズ音が発生し、アンプの保護回路が働きCN23の音が出なくなることがあります。出なくなった場合はもう一度電源を入れ直して下さい。

CN23 の組み立て方

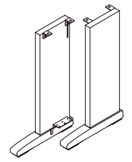
組立作業は必ず2人で行ってください。
本機を移動するときは、水平に持ち上げるようにし、手をはさんだり、足の上に落とさないよう十分注意してください。

部品の確認

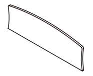
組み立てる前に、部品がそろっていることを確認してください。また、＋ドライバーをご用意下さい。



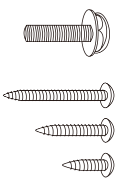
①本体



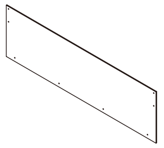
②側板　2 枚（左右）



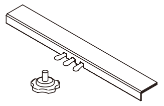
③譜面台



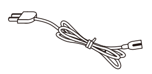
⑦ネジ（平ワッシャー・スプリングワッシャー付き）　4 本
⑧タッピングネジ（黒長）2 本
⑨タッピングネジ（黒中）4 本
⑩タッピングネジ（銀短）4 本



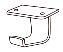
④裏板　1 枚



⑤ペダル土台　1 個
ペダルアジャスター　1 個



⑥電源コード　1 本



ヘッドホンフック

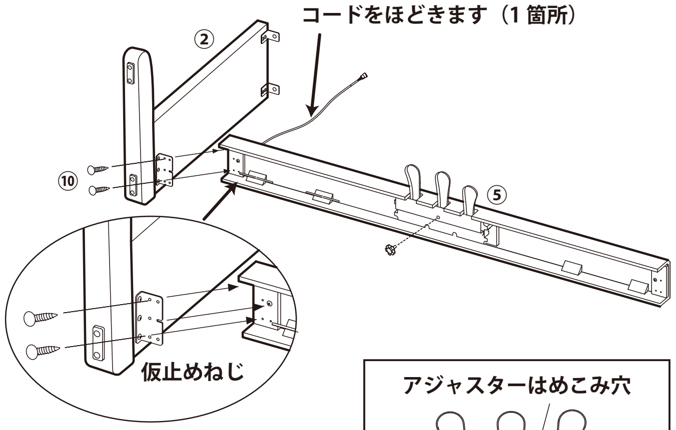
ヘッドホンフック取付ネジ　φ4×14(２本)

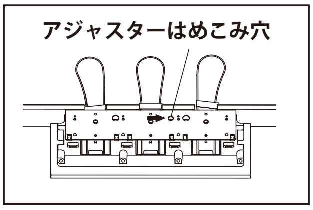
⑪ヘッドホンフックセット　1 セット

1.「②側板」と「⑤ペダル土台、アジャスター」を組み立てる

「⑤ペダル土台」に結ばれているペダル接続コード（1 箇所のみ）をほどいて、ペダル接続コードを引き出しておいてください。また、ペダル土台の裏側からアジャスター（高さ調整ネジ）を矢印の指す孔に 1 ㎝ぐらいはめこみます。

「⑤ペダル土台」に仮止めされているネジを側板の金属の溝にはめ込み、「②側板」とペダル土台をぴったりと押しあてて仮止めねじを締めます。「②側板」は、左右あるので組み合わせに注意してください。残りのネジ穴に先の尖った「⑩タッピングネジ（銀短）」で固定します。





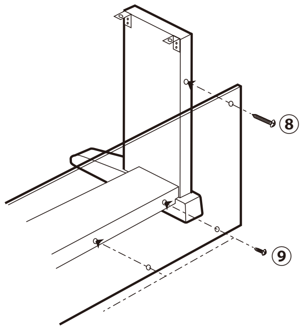
> **ここがポイント！**
> **•側板（左／右）とペダル土台をしっかり密着させて下さい。**

2.「④裏板」を固定する

ペダル土台を下向きにして起こします。

このとき、床に楽譜や部品がないことを確認ください。

「裏板」を「側板」に取り付けます。「⑧タッピングネジ（黒長）」で裏板上部を固定します。次に４本の「⑨タッピングネジ（黒中）」で下部を固定します。この時、側板と裏板にスキがないように密着させて取り付けてください。



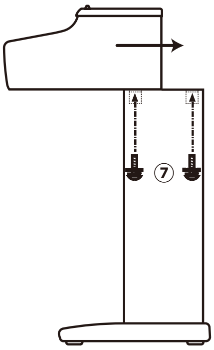
付録

3.「①本体」を組み立てたスタンドに載せる

「①本体」を持ち上げ、スタンドを真上から見て本体の後ろに金具の穴が見えるくらいの位置に静かに載せます。スタンドを固定して、本体が傾いて落ちないように一方の手で前部を支えながら本体を後ろにスライドさせると、本体のフックが側板の金具に引っかかります。

本体とスタンドを「⑦ネジ（平ワッシャー・スプリングワッシャー付き）」４本で固定します。

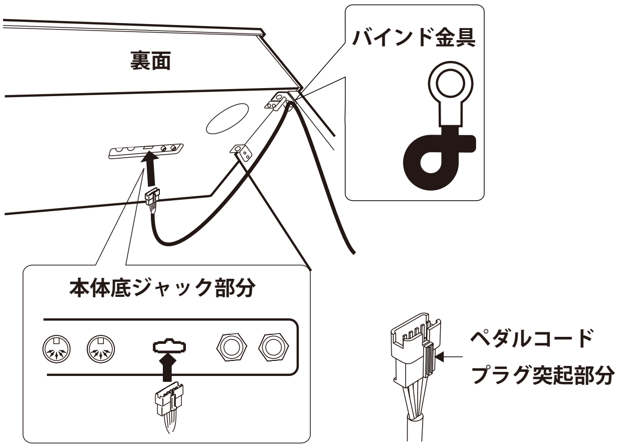
まず、ネジを軽く締めて、４本のネジがすべてまっすぐ入るように本体の位置を調整してから、きちんとネジを締めるようにしてください。この時､「⑦のネジ」はスプリングワッシャーがつぶれるまでしっかり締めてください。



本体とスタンドの間で手をはさまないよう注意してください。

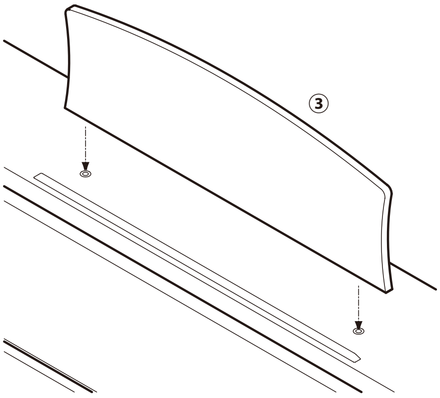
必ず本体とスタンドをネジで固定してください。固定しないと、本体がスタンドから落ち、大変危険です。

4. コード類を接続する / 譜面台を差す



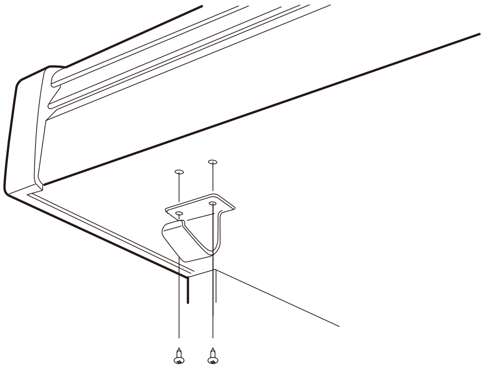
ペダル土台から出ているペダル接続コードを、端子の突起部を手前にして本体のペダル端子に差し込み、コードが適当な位置になるような場所にバインド金具で巻き付けて固定して下さい。

「⑥電源コード」の端子を AC IN に差込み、裏板上の隙間よりプラグを後ろに通してください。



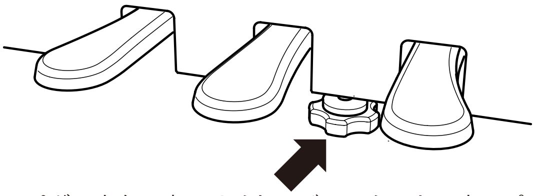
「③譜面台」を本体屋根に差し込みます。

5. ヘッドホンフックを取り付ける



ヘッドホンフックは同じ袋に入っている２本のタッピングネジで図の穴に固定してください。

6. アジャスターを回す



ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで回してペダル土台を補強します。

アジャスターボルトをしっかり床に付けないとペダル土台が壊れる恐れがあります。
尚、移動の際は、引きずらないで、必ず床から持ち上げて移動してください。

付録

CN23 仕様 / 各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧

CN23 仕様

鍵盤	88 鍵　レスポンシブ ハンマー アクション（RH Action）鍵盤 / アイボリータッチ
同時発音数	最大 96 音（音色により異なる）
音色	15 音色　（P.26 参照）
効果	リバーブ（ルーム、ステージ、ホール）
レッスン	バイエル 全 126 曲（バリエーション 20 曲を含む） ブルクミュラー 全 25 曲（右手 / 左手個別再生可、テンポ変更可）
メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8 拍子
内部レコーダー	3 ソング、総記憶音数　約 15,000 音
デモ曲	全 15 曲
コンサートマジック	全 40 曲
トランスポーズ	-6 〜＋ 5 半音
その他機能	マスターボリューム、デュアル、4 ハンズ（連弾演奏）、 タッチカーブ選択（ライト / ノーマル / ヘビー / オフ）、チューニング、 ダンパーエフェクト、MIDI 設定機能
ペダル	ダンパー（ハーフペダル対応）、ソフト、ソステヌート
キーカバー	スライド式
外部端子	ヘッドホン（2）、MIDI（IN, OUT）
出力	20 W x 2
スピーカー	12 cm x 2
定格電圧	AC100V, 50 / 60Hz
消費電力	50 W
寸法	W 137 x D 41 x H 84.5 cm（譜面台含まず）
重量	42 kg
同梱品	本体 / スタンド / 高低自在椅子 / 電源コード / 取扱説明書（本書） ファンクションシール（1 組）/ ヘッドホン / ヘッドホンフック スタンド組立図 / 保証書 / ご愛用者カード アフターサービスと音楽教室のご案内 / 楽譜集のご案内 / 楽譜集の払込取扱票

* 本仕様、及び同梱品につきましては改良のため、 予告なく変更することがあります。

各音色に対応する送受信プログラムナンバー一覧

音色名	マルチティンバーオフの時	マルチティンバーオンの時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク MSB	バンク LSB
ピアノ 1	1	1	121	0
ピアノ 2	2	1	95	16
ピアノ 3	3	1	121	1
ピアノ 4	4	2	121	0
エレクトリックピアノ 1	5	5	121	0
エレクトリックピアノ 2	6	6	121	0
ジャズオルガン	7	18	121	0
チャーチオルガン	8	20	121	0
ハープシコード	9	7	121	0
ビブラフォン	10	12	121	0
ストリングス 1	11	49	121	0
ストリングス 2	12	45	95	1
クワイア	13	53	121	0
ファンタジー 1	14	89	121	0
ファンタジー 2	15	100	121	0

KAWAI [Model CN23] MIDI インプリメンテーションチャート

Date : Aug '09　Version : 1.0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシックチャンネル	電源 ON 時	1	1	
	設定可能	1～16	1～16	
モード	電源 ON 時	モード 3	モード 1	* 電源 ON 時オムニオン。MIDI チャンネル設定操作によりオムニオフ。
	メッセージ	×	モード 1, 3*	
	代用	＊＊＊＊＊＊＊＊＊	×	
ノートナンバー		15 - 113**	0 - 127	** 15-113　トランスポーズを含む。
	音域	＊＊＊＊＊＊＊＊＊	15 - 113	
ベロシティ	ノート・オン	○　9nH　v=1-127	○	
	ノート・オフ	×　9nH　v=0	×	
アフタータッチ	キー別	×	×	
	チャンネル別	×	×	
ピッチ・ベンド		×	×	
コントロールチェンジ	7	×	○	ボリューム
	64	○（右ペダル）	○	ダンパー
	66	○（中ペダル）	○	ソステヌート
	67	○（左ペダル）	○	ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○	○	（プログラムチェンジ対応表参照）[P.30]
エクスクルーシブ		○	○	送信選択可能
コモン	ソングポジション	×	×	
	ソングセレクト	×	×	
	チューン	×	×	
リアルタイム	クロック	×	×	
	コマンド	×	×	
その他	ローカル ON / OFF	×	○	
	オールノートオフ	×	○	
	アクティブセンシング	○	○	
	リセット	×	×	
備　考				

モード 1 : オムニオン、ポリ　モード 2 : オムニオン、モノ
モード 3 : オムニオフ、ポリ　モード 4 : オムニオフ、モノ

○ : 有り
× : 無し

株式会社 河合楽器製作所
電　子　楽　器　事　業　部
〒430-8665 浜松市中区寺島町200番地
TEL. 053-457-1277 / FAX. 053-457-1279
http://www.kawai.co.jp/

お問合せ先について

ご不明な点などがございましたら、下記のお客様相談室をご利用下さい。

◆お客様相談室

TEL. 053-457-1311 / E-mail. customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9：00 ～ 12：00 / 13：00 ～ 17：00
（土曜、日曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます。）

◆お客様サポート・お問合せフォーム

http://www.kawai.co.jp の「お客様サポート」よりお進みください。

故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、もしくはお近くのフィールドサポート担当までご連絡ください。
詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

816752
KPSZ-0314-R102
Printed in Indonesia

本取扱説明書の一部、あるいは全部を無断で複写・転載することを禁止します。